

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	PRIMAL 50	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：PRIMAL 50

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 インチ

5 インチ

MB 4in1/2

比較対照ボール：PRIMAL RAGE

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

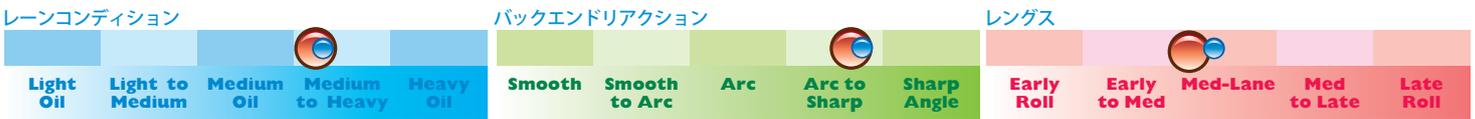
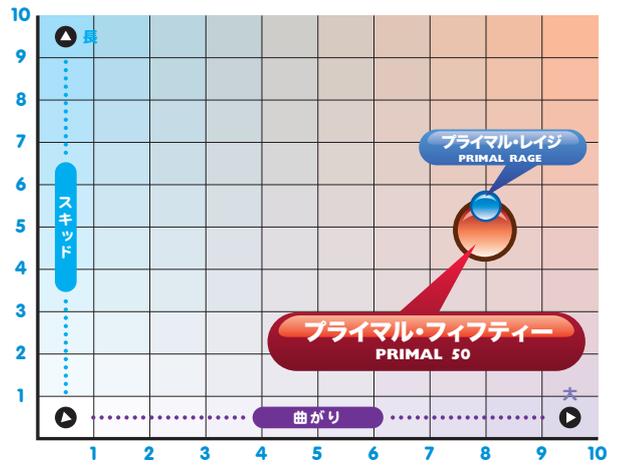
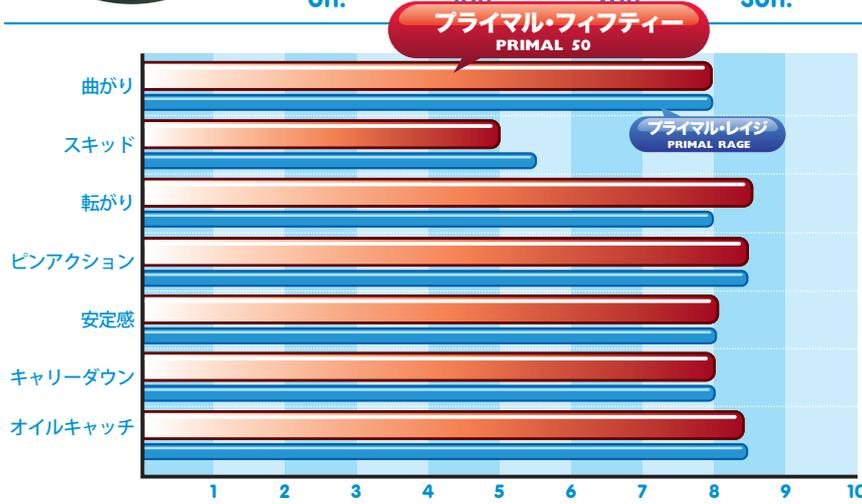
PAPからピンとの距離 インチ

5 インチ

MB 5in



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

昨年Jake Peters選手がPrimal RageでPBAツアーで初優勝を成し遂げてから、日本でもPrimal Rageの評価は非常に高く、今のMOTIV社のクオリティーの高さも世に知らしめた作品になりました。その後Covert RevoltやJackalのように即日完売後も再入荷を繰り返すボールが多く発売されるようになったのも、Primal Rageの始まりがなければなしえなかったでしょう。その功績に敬意を評し、ABS50周年の今年、MOTIV社を代表してPrimal Rageをanniversaryのボールと初内を決定致しました。バックエンドリアクションとスキッドと曲がりのトータルバランスの良さに多くの人が魅了され、2個買い、3個買いの方も多く見受けられました。今回のPrimal 50もその性能はしっかりと継承されており、コアの数値、カバーストックはそのままに配色をSky Blue/Goldに変更して発売します。

RageとPrimal 50双方を投げ比べてみると、配色の具合か見た目ややRageよりもPrimal 50のほうが曲がり始めが早く感じました。その曲がり具合がキャッチし過ぎるのではなく、ミッドエリアの安定感に繋がっていて、そういう感じで動き始めてもバックエンドはしっかりと切れながら曲がるイメージで、私の場合はRageよりもPrimal 50のほうが曲がりが大きく、安定感とキレが共存しているイメージを抱きました。安定した軌道でポケットをつくCovert Revoltでもよし。バックエンドでAngularな動きで攻撃的に攻めるPrimal 50でもよし。ベストなのはCovert RevoltとPrimal 50を両方持ち、コンディションに対峙することです！

特記事項

バックエンドでAngularな動きで定評だったPrimal Rageが50周年モデルとして復活します。この機会を見逃さず、必ずショップでオーダーをしてください。